

# 会議結果のお知らせ

## 1 開催した会議の名称

令和2年度岩手県政策評価委員会

## 2 開催した日時

令和3年2月10日（水） 10：00～10：40

## 3 開催場所

盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎 8階 大会議室

## 4 出席委員

加藤徹委員長、吉野英岐副委員長、石川奈緒委員、泉桂子委員、市島宗典委員、小笠原敏記委員、狩野徹委員、工藤昌代委員、小井田伸雄委員、斉藤徹史委員、島田直明委員、清水真弘委員、谷本真佑委員、西田奈保子委員、松山梨香子委員、武藤由子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員

(20名中18名出席)

## 5 議事等

### 【報告事項】

- (1) 令和2年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について
- (2) 令和2年度政策評価結果等の政策等への反映状況について  
事務局から上記2項目について資料に基づき報告。

### 【主な質疑】

- 「令和2年度政策評価結果等の政策等への反映状況報告書」25ページ「自然環境分野」の「今後の方向」に「温室効果ガス排出削減対策を総合的に推進します。」とあるが、具体的にどのように取り組むのか。

(回答) 今年度内に「第2次岩手県地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガス排出量の2050年ゼロを見据え、そこに至る道筋として、2030年度の温室効果ガス排出削減割合41%を目標として掲げ、省エネルギー対策の推進、再生可能エネルギーの導入促進、森林吸収源対策をはじめとした、多様な手法による地球温暖化対策の推進に取り組むこととしている。

この計画に基づき、令和3年度には、新規事業として「ゼロカーボン推進事業費」を創設して、家庭の省エネルギー化を進めるための省エネ住宅に関する相談事業、戸建て住宅の省エネ診断などの実施、事業者におけるLED照明などの高効率省エネ設備導入経費に係る補助、県有施設での再生可能エネルギー由

来 100%の電力使用に向けた検討、一般家庭における太陽光発電及び蓄電池の共同購入、そして、海藻などを二酸化炭素吸収源とするブルーカーボンの普及啓発などを進めることとしており、県民や一般事業者と一体となった取組を推進していくこととしている。

- 県営住宅活用促進モデル事業について、2 ページや 70 ページにその概要が記載されているが、その入居方法、若者を入居させることによる効果はどういったものかを考えているのか。

(回答) 報告書の 70 ページに新規事業の創設として「県営住宅活用促進モデル事業費」と記載のあるものであり、県営住宅の空き住戸に Wi-Fi 環境を整備する。入居の方法については、行政財産の目的外使用として対応することとしている。若者あるいは U・I ターンの方々に対し、Wi-Fi 環境を整備し、子育て世代を含めた若者の入居の促進を進めたいと考えている。盛岡市における地区の活性化などの取組に、入居した若者が参加してもらえるような工夫を取り入れながら、取組を進めていくこととしている。また、災害公営住宅を含めた社会資本ストックを効率的に活用できるような取組を進めていく。

盛岡市内の団地に 10 戸、北上市内に 10 戸、奥州市内に 10 戸の整備を想定している。令和 3 年度の県の施策の重点として、若者の活躍支援を掲げており、ライフステージに応じた支援を実施していく。若者の支援を通じて、人口減少対策の観点から取組を進めようとしており、今年度部局横断的なワーキンググループを立ち上げ、検討してきたところであり、さらにブラッシュアップを図りながら、取組を進めていきたいと考えている。

#### 【会議資料】

資料 No. 1 令和 2 年度政策評価等の実施状況と各専門委員会の開催状況  
冊子 令和 2 年度政策評価結果等の政策等への反映状況報告書

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

## 6 傍聴人数

一般 0 名  
報道 1 社

## 7 問い合わせ先

盛岡市内丸 10 番 1 号

岩手県政策企画部政策企画課評価担当 TEL019-629-5181 FAX019-629-6229

## 8 アドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/hyokaiinkai/index.html>

## 9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の委員会での審議の参考とさせていただきます。